

八幡平市商工会経営発達支援計画に係る事業評価（令和6年度実施事業）

事業評価委員会 委員会 総 括	I 経営発達支援事業（伴走型支援）について 地域の経済動向調査は、継続的に行われ、個別の相談や事業計画の検討、補助金申請などに活用されている。 また、経営状況の分析、事業計画の検討、計画策定後のフォローアップについては、各事業者の経営状況や課題が多様であることを背景に、セミナー開催から個別相談会による個者支援を主体とする方法に転換し、より丁寧な支援が行われている。その結果、目標値を上回る支援実績件数、売上増加件数となっている。 新たな需要開拓に寄与する取り組みは、需要動向調査と共に実施され、①八幡平市フェア展示・販売会、②八幡平の食と工芸の商談会、③商工会が運営する「ハチクラWEB」を活用した販路開拓の取り組みなど、それぞれに取り組む事業者の支援を行い、多くの目標値を上回る実績となった。ただし、インターネットを活用した販路開拓・売上増については、若干目標に及ばなかったことから、多様な各事業者の課題に対して支援の充実を図るなど今後の取り組みに期待したい。 II 地域経済の活性化に資する取り組みについて 観光振興の取り組みとして、①八幡平市観光イベント事業、②市内外からの誘客促進を図るための商店街等イベント事業の実施など、関係団体との協力・連携による事業が行われ、コロナ禍後の集客に寄与している。 人材確保や担い手育成に向けて、地元企業に対する平舘高等学校生就職体験の受入や盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会を開催した。また、商工業担い手育成事業として、子ども向け職業体験事業を実施し市内事業所のPRが行われた。 市内への定住・移住人口増加のための商店街空き店舗の活用に向けては、定期的に事務局レベルでの会議を開催すると共に、空き店舗調査を実施し市に情報提供している。 今後も関係者間の連携を図り、地域経済の活性化に向けて、より効果的な取り組みの継続的な実施を期待したい。 III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組みについて 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換については、各関係機関や金融機関等との定期的な会議の場を通して行われており、今後も継続的な実施が望まれる。 経営指導員等の資質向上等に関しては、岩手県商工会連合会主催の研修会への参加や広域指導員によるOJTの実施、職員間の情報共有による支援力向上、定期ミーティングによる情報の共有などに取り組まれている。職員の異動があっても継続的な支援を円滑に行うため、クラウド型経営支援ツール「商エイントラ」への情報入力と活用による支援ノウハウのデータベース化、蓄積が行われている。 事業評価に関しては、事業評価委員会の開催と共に、外部委員を交えず内部で中間実施状況の確認が行われ、年3回開催された。 IV I～III全体としての評価 2期計画の最終年度の令和6年度は、各項目の目標値に対して、多くがA評価となり、全体としても「A評価」としても良いという意見があったほど、全体的な取り組みの状況は良好である。「A評価」にかなり近い「B評価」となっている。 V その他商工会事業に対して 今後、新たな3期計画に基づき、専門スタッフとしての全職員の資質向上の取り組みの充実を図ると共に、地域の多様な小規模事業者の実態把握に努め、対話と傾聴による信頼関係の構築に留意した伴走支援に、引き続き取り組んでいただきたい。
--	---